

# 平成 29 年 12 月 北秋田市長定例記者会見

平成 29 年 12 月 28 日（木）9 時 00 分  
市役所本庁舎 大会議室

## 1. 今年 1 年を振り返って

その他

- ・ 1 月の行事予定

## 1. 今年1年を振り返って

今回の記者会見が本年最後となりますので、1年を振り返っての感想と新年の抱負について少しお話させていただきます。

今年は、まずもって、4月に行われた市長選挙におきまして、無投票により三期目の市政の舵取り役を預からせていただくことになりましたが、秋田県の人口が100万人を割り、人口減少の凄まじい破壊力により地域の維持がどんどん難しくなる中であって、私は「人口減少時代への挑戦」を指針に掲げ、将来にわたって活力ある北秋田市を維持するため、更なる北秋田の創生に向けた歩みを進めさせていただいたところであります。

特に、中心市街地活性化の核であります「北秋田市民ふれあいプラザ」は、これまでに40万人を超える方々に利用いただいております、この人の流れを取り込もうとする様々なイベントの開催により、新たな賑わいも創出されましたところでありますが、商店街の方々を含めてどう盛り上げていくのかが課題であるとも考えているところであります。

また、観光面におきましては、青森市の八甲田と山形市の蔵王とともに、森吉山の樹氷を国内外へとPRしていく「世界に誇る樹氷観光地宣言」を行ったところでありますし、内陸線に乘車して沿線地域を観光する外国人の団体旅行客も昨年度の1万5千人を上回るペースで推移しております、北秋田の固有の価値や魅力に対する海外の評価が高まってきているものと受け止めているところであります。

このほか、9月に行われました「ねんりんピック秋田2017健康マージャン大会」では、全国から大勢の選手をお迎えし、盛況のうちに終えることができましたし、11月には東京都国立市との間で今後の交流を更に発展的なものにするべく「交流促進共同宣言」を行いましたほか、中国上海市で行われました旧秋田県立営農大学校留学生同窓会に参加をさせていただきまして、留学生の皆様と5年ぶりに再会するなど、沢山の皆様との交流があり、そして、絆を深めることができた1年であったと思っております。

また、生活基盤の維持向上の面では、地域防災の新たな情報伝達手段として、防災ラジオ配布に向けた準備を進め、防災力の向上を進めておりますし、森吉合川統合簡易水道施設整備が完了いたしましたほか、クリーンリサイクルセンターエネルギー回収施設整備工事も順調に進み、4月からの稼動に向け準備をおこなっているところでありまして、市民の皆様が安全安心に暮らす環境の整備を進めることができたと考えております。

しかし、一方では、クマの出没が相次いだ一年でありまして、地域の猟友会の皆様の全面的なご協力のもと対応をしてみましたが、大きな課題として浮き彫りになったところであります。

来年は総合戦略が終盤戦となりますことから、これまでの進捗状況を踏まえ、効果の検証も行いながらスピード感を持って積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

特に、移住定住ネットワークセンターがいよいよ稼働いたしますことから、円滑な移住を支援し、移住者の増加に力を入れてまいりたいと考えておりますし、結婚支援や雇用の場の確保に力を注ぎ、若者の流出による社会減の抑制を進めてまいりたいと考えております。

また、これまで培ってまいりました他地域との連携をより発展的なものにしてまいりたいと考えておりまして、先ほどご紹介した国立市とは、都市間協定（友好都市協定）の締結に向けた取り組みを進めたいと考えておりますほか、他の地域とも様々なチャンネルを活用して交流や連携の輪を広げてまいりたいと考えております。

間もなく大館能代空港の目の前まで高速道路が延伸されますことから、他にはない当市の大きな強みが一段と増すこととなります。

高速道路・空路・鉄路と併せた3つの高速交通体系が確立されている恵まれたインフラのもと、新たな企業進出や物流量の増加、広域周遊観光客の増加など、地域が大きく活性化するものと期待しているところでありますので、市民の皆様が北秋田市に生まれ、育ち、暮らしていることに誇りと希望を持てるよう、職員一丸となって取り組んでまいりたいと考えております。